

第3128回
例会本日の
プログラム

就任挨拶(2) 各理事

就任挨拶(1) 会長、副会長、幹事

梅澤英行 会長

みなさん、こんにちは。今年度会長を務めさせていただきます梅澤です。どうか一年間よろしくお願いいたします。

入会して23年になります。簡単に自己紹介させていただきますと、出身は東京の神田です。私立開成高校から現役で電気通信大学に進み、卒業後父親が創業していた社員3人の会社に入り、以後電子部品商社と電子制御のハード、ソフトを開発をする東京、仙台、札幌の3拠点、5事業所の梅沢無線電機という名前の会社を40年ほど経営していました。社員は40人ほど、年商20億円くらいの会社でした。2020年に京都に本社がある筆頭株主が三菱電機の東証プライム上場企業の(株)たけびしとM&Aで資本提携しました。会社を離れ5年になります、私の会社で開発した製品が社会インフラや通信インフラなどで今でも実際に使われているのを見るにつけ、社会に対して貢献できたという満足感と、提携先が大手の上場企業だったので未来のある社員の雇用と待遇が確保できたことが何よりうれしく思っているところです。

今年度の会長方針ですが、これまでの会長さんも言うておられた「会員増強」に取り組みたいと考えています。ハードルは高いのですが、会員の方からの情報を頼りに一年間頑張ろうと思っています。2番目には会員相互の親睦が深められるような取り組みを考えてみたいと思っています。3番目には機会を見てロータリーに関する話題を提供していきたいと考えています。東クラブでは馴染みのない言葉ですが、他のクラブでは「会長の時間」というコーナーを設けているクラブが結構あります。これは不定期に会長が会員の方に不特定的话题を短時間に語り掛けるといったもので、こういった機会を通じてロータリーのことを考えてみたいと思っています。

岡澤邦幸 副会長・クラブ奉仕委員長

まずは前年度の瀬尾会長、佐々木幹事、本当にお疲れ様でした。前年度の例会出席率は終始70%前後の高出席率で、まさしく瀬尾会長支持率と言っても過言ではありません。では、就任挨拶は私の代わりにAIがお伝えいたします。

プロンプト①:副会長クラブ奉仕委員長に就任したので、就任挨拶文を作成してください。

⇒皆様、こんにちは。この度、副会長に就任いたしました岡澤です。創立以来、会員の皆様が築き上げてこられた伝統と実績のある札幌東ロータリークラブの副会長という重責を担うことになり、身が引き締まる思いです。微力ではございますが、会長を支え会員の皆様と力を合わせクラブの発展のために精一杯努力して参ります。一年間どうぞよろしくお願いいたします。

プロンプト②:札幌東ロータリークラブが抱える問題点を教えてください。

⇒札幌東ロータリークラブに限らず、ロータリークラブはメンバーの高齢化や若年層の参加不足、ひいては会員の減少、多様性の欠如、活動内容の時代とのズレなどが課題として挙げられます。

プロンプト③:若い経営者や女性経営者に入会いただくためにはどのような取り組みを行えばよいのでしょうか？

⇒クラブの活動内容や雰囲気積極的に発信することが大切です。SNSやウェブサイトを活用して、クラブの魅力を伝えましょう。また、若い世代や女性が興味を持つようなイベントやプロジェクトを企画するのも効果的です。例えば、地域課題解決型のワークショップや、キャリアアップに役立つセミナーなどを開催するのはどうでしょうか。



梅澤英行 会長



岡澤邦幸 副会長・クラブ奉仕委員長

■本日のロータリーソング

我等の生業

2025-2026年度
国際ロータリー会長のメッセージ

国際ロータリー会長:フランチェスコ・アレツツォ

よいことの
ために
手を取りあおう

酒井 純 副会長・職業奉仕委員長

この度、職業奉仕委員長を担当することになりました酒井です。よろしくお願いします。

私の職業は、公認会計士と税理士です。職員が6名の会計事務所の所長です。後継者はいませんので、まだまだ、職員と一緒に、頑張らないといけないと考えております。

また、いくつかの大きな会社の監査役をしているため、取締役会や株主総会に出席しなければならないという仕事もあります。もし、例会に欠席しているときには、どこかの会社の取締役会に出席していると考えて頂き、ご容赦下さい。

次に、ロータリー歴ですが、私は1997年3月に入会しました。入会してから28年になります。

さて、本題です。当クラブの定款細則には、職業奉仕委員会の任務について「各会員それぞれの職業における慣行の一般水準を引き上げるうに役立つ指導と援助を与えるような方策を考案しこれを実施するものとする」と何やら難しい任務が記載されています。一方、梅澤会長年度のスローガンの中にある、「奉仕の足跡」ということで、私の入会時(1997年)まで遡ってみると、「ロータリーの職業奉仕・十話(職業奉仕委員長さんのために)」(2510地区職業奉仕委員長塚原房樹・1998年3月)というA4版の25ページの冊子があります。その中で、「職業奉仕とは、第一に、ロータリーの例会での精神的親睦(切磋琢磨)を通じて、“世のため人のための心”を涵養することなのです。」と説明されています。

具体的には、①音楽委員会のご協力のもと、例会にて毎月「4つのテスト」を斉唱する、②プログラム委員会と連動し、会員および会員以外の例会卓話、職場訪問を実施するなど、取り組んでまいります。

会員の皆様、職業奉仕委員会の各委員の皆様のご理解とご協力、何卒よろしくお願いいたします。

清野敏彦 幹事

小山会員、不動会員、辞められましたが斉藤博之さんとのご縁を頂き平成30年1月に入会させていただきました。入会当初は不良会員で例会にもあまり出席せずにおりました。例会では会食で緊張してなかなか話しかけづらかった事を思い出します。

梅澤会長とのご縁を頂き、幹事の話しがあり、ロータリーに入ったら誰に、何を言われても答えはこれしかない。「はい」か「イエス」か「喜んで」だと聞いていて、「喜んで」とは言いませんでしたが「はい」わかりましたと言ってお引受けさせていただきました。

お引受けした後に多くの先輩方に幹事は大変だよーと言われもう少し早く言って頂ければと心の中で思っておりました。こんな頼りない幹事ではございますが、幹事として歴史と伝統を受け継ぎながら活動して行きたいと思っております。

フランチェスコ・アレツツォRI会長は、「よいことのために手を取りあおう」(UNITE FOR GOOD)をRIメッセージに、玉井清治ガバナーはREVIVAL(リバイバル)「原点に立ち返り、未来への繁栄へ」をポリシーに掲げられております。

梅澤会長方針として

1. 仲間を増やそう、未来のために
2. 老いも若きも仲良く楽しく
3. ロータリーの事、奉仕の足跡を見てみよう

の3本柱を基に会長の思いを受けクラブ運営を行っていきたくと考えております。幹事は会長を支える仕事だと肝に銘じて奉仕活動を通して、ロータリーの原点である会員相互の親睦と友情を深め、創立の精神を忘れることなく“ロータリーの奉仕理念”を次へとつないでいけるよう尽力してまいります。

会員の皆様におかれましては、この1年も特段のご理解とご協力、更にはニコニコへのご協力と積極的な奉仕活動へのご参加をお願い申し上げます。



酒井 純 副会長・職業奉仕委員長



清野敏彦 幹事



札幌西RC 前原絢子さん



札幌南RC 里見英樹さん



野村昭光 会員